



## 収まらない物価上昇！

急激な物価上昇と年収減少が

持ち家取得の障害になっている！

## 緊急処置を求める！



円安や世界的需要の増加により原材料（木材・鉄鋼・原油）価格の急騰や地価、住宅需要の上昇により住宅購入価格が例年より10～15%高くなっていると言われていています。さらに年収の減少が持ち家取得の障害となっています。また相次ぐ社宅や寮の廃止、社宅の退去期限も迫っています。そこで輸送サービス労組は組合員の声から住環境支援を年末手当（3.2ヶ月）、急激な物価上昇に対する生活保障分（0.3ヶ月）と共に求めています！

MAIL NEWS  
JTSU 輸送サービス労組  
2022.10.19 No. 068

申10号  
2022年度年末手当に関する申し入れ  
10月19日提出!

夏季手当交渉における「労使における3点の確認事項」  
① 鉄道が未来永劫発展していくためには労使議論が必要であり、双方の立場を認め合い、議論に踏まえ認識の一致を図っていくこと。  
② 黒字を達成した際には社員への還元を実施すること。  
③ 社員が未来を展望できる労働条件の確立を図ること。

を踏まえ、以下の要求について申し入れを行う!

年末手当  
基準内賃金の  
(エルダー社員は基本賃金の)  
**3.2ヶ月分**

さらに 未曾有の物価上昇に直面していることから  
急激な物価上昇に対する生活保障分  
基準内賃金(エルダー社員は基本賃金)の  
**0.3ヶ月分**  
寮・社宅の退去期限の延長  
貸貸住宅援助金の増額

すべての組合員の声を踏まえ  
実現 3.5ヶ月分+住環境支援 **要求!**

1. 2022年度年末手当については、基準内賃金(エルダー社員は基本賃金)の3.2ヶ月分とする。2. 2022年度賃金交渉において確認した「物価上昇分を考慮した生活保障向上にも努めるべき」との考え方を大前提とし、直前直後の物価上昇に対する生活保障を行うための緊急措置として基準内賃金(エルダー社員は基本賃金)の0.3ヶ月分を追加支給すること。3. 寮・社宅(賃料)の削減や廃止の要請、円安による米等の物価上昇と年収の減少が、持ち家取得に対する障害となっていることから、社宅退去期限の延長の要請を行うこと。また、社宅の廃止が相次いでいることから賃貸住宅補助金の増額を行うこと。4. この要求に対する期限については、2022年11月11日までに行うこと。5. 実行期日は、2022年12月2日までとする。

私たちはあらゆる施策を担い、収益回復をめざし、四職の努力によって第一四半決算で黒字化をつくり出してきた!  
会社は労使の3点の確認事項に則り「満額回答で責任を果たすべきだ!」

社員と家族の生活を守るため

## 満額回答を求める！